

倉吉市役所 関金庁舎 開庁式

3月22日
三月二十二日、倉吉市と関金町が合併し、旧関金町役場は倉吉市関金庁舎として開庁しました。

この日は、午前八時から関金庁舎（倉吉市関金町大鳥居）において開庁式が行われ、市並びに旧関金町の行政関係者や議会議員、合併協議会委員、関金地区住民などの関係者約百人が出席して、庁舎銘板の除幕やテープカットなどが行われました。

また、人生の節目を合併とともに迎えた人が、午前八時半の開庁とともに第一号の出生届を提出されました。届けは、本庁と支所をつなぐ電算システムによって、順調に受理されました。



倉吉市関金庁舎（旧関金町役場）の開庁式でテープカットを行う市長と関金地区住民など

詳しいことは、3月号市報・町報と一緒に配布された「新倉吉市」及び「合併ガイドブック」（関金地域のみ）に掲載されています。

旧関金町では、合併前日の三月二十一日に、「木の実の里」（関金町泰久寺）の開園式と、旧関金町役場において開庁式を行い、五十一年に及ぶ歴史に幕を閉じました。

「韓国羅州の歴史と文化を研究する会」調査報告 羅州の古墳文化

根鈴輝雄

輝ける羅州の歴史

羅州市の歴史は倉吉市とよく似ています。どちらも古くから地域の雄として輝ける歴史を持っています。

倉吉に伯耆国内を統括するための国庁（現在の県庁にあたる役所）が存在したように、羅州には、韓国内十二ヶ所に派遣された牧使と呼ばれる国の官吏が常駐し、済州島までも管轄していました。これは、高麗時代のことですが、羅州の輝ける歴史は、さらに古く三国時代（日本の古墳時代）にまでさかのぼります。

古代文化の華ひらく羅州平野

羅州市域を北から南西に向かって悠々と流れる栄山江。この大河がくり出された羅州平野は、韓国を代表する平野の一つとして広大な面積をもっています。この平野は、今も昔も揺ぎない確かな経済基盤であり、三国時代の古墳文化もこの栄山江に育まれて展開しています。

羅州平野を貫く栄山江流域には、朝鮮半島三国時代に造営された古墳が集中しており、なかでも特に重要な歴史的意味を持つのが新村里九号墳と伏岩里三号墳です。

二つの古墳

羅州の古墳といえば、新村里九号墳が想起されるほど韓国内では有名な古墳です。この古墳には、韓国の他の地域にはみられない大型の甕棺が十一基も埋葬されていました。

羅州市役所の玄関ロビーには、甕棺に副葬されていた金銅製のレプリカが飾ってあります。現物はソウルにある国立中央博物館が所蔵して

いますが、国宝に指定されている羅州市の誇る文化財です。この金銅製冠を見れば古代羅州の豊かさを実感することができます。

新村里九号墳の被葬者の後に、羅州平野の覇者となるのは伏岩里三号墳に葬られた人々です。伏岩里三号墳は、約二百年にわたって甕棺墓や横穴式石室が造営されつづけ、その結果、合計三十二基にもなる埋葬施設が寄り合わさった墓の集合体です。棺の上に棺を重ねていくような埋葬方法は、韓国国内でも極めて希です。

この二つの古墳とも、この地域特有の大型の甕棺を埋葬施設として使っており、葬られた人々が羅州平野を統括した在地の支配者たちであったことを示しています。しかし、甕棺内に酷似した円筒形土器の存在は、百済の王族や日本列島の集団とも密接な関係を持っていたことを物語るものです。

羅州古墳文化と日本の関係

羅州市に存在するこの二つの古墳は、羅州地域の古墳文化の様相を教えてくれるばかりでなく、朝鮮半島全体ひいては北東アジアの動向とも結びついていることを示しています。

広大な平野を領有し、確かな経済基盤に立脚した羅州の勢力を、百済や日本がどのように取り込もうとしたか。その過程が、静かに佇む二つの古墳に記録されているのです。



金銅製冠（新村里9号墳）

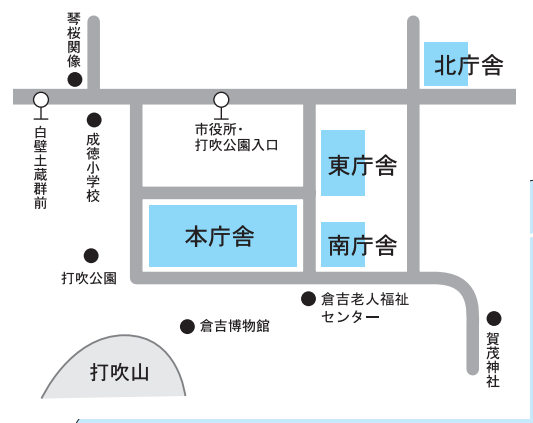
新市 市役所配置図 電話・FAX

合併により課の配置や電話番号が一部変更になりました。



北 庁 舎

3階	農業委員会 ☎22-8171
2階	産業部長室 農林課 ☎22-8115 ☎22-8157
1階	商工観光課 企業立地推進室 ☎22-8158 ☎22-8129 ☎22-8136



本 庁 舎

4階	市長室 助役室 秘書広報課 企画部長室 企画課 市民参画課 ☎23-2008 ☎22-8112 ☎22-8160 ☎22-8122 ☎22-8161 ☎22-8159 ☎22-8144	総務部長室 総務課 財政課 職員課 記者室 ☎22-8121 ☎22-8162 ☎22-8163 ☎22-8164 ☎22-8123 ☎22-1087 ☎22-8430
3階	生活環境部長室 環境課 検査専門監 行政改革推進委員会 選挙管理委員長室 ☎22-8113 ☎22-8168 ☎22-8125 進監 ☎22-8119 員会 ☎22-8119	
2階	市民課 市民生活相談 国民健康保険課 税務課 会計課 ☎22-8155 ☎22-2717 ☎22-8124 ☎22-8114 ☎22-8154	
1階	収入役室 議会事務局 山陰合同銀行市役所出張所 ☎22-8153 ☎22-8145 ☎22-5656 ☎22-8146 ☎22-3744	
1階	情報政策課 宿直室 職員労働組合 ☎22-8150 (夜間・休日) ☎22-5442 ☎23-6127 ☎22-8111 ☎48-0044	

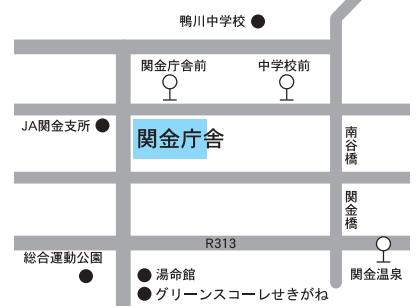
東 庁 舎

3階	教育長室 教育総務課 学校教育課 ☎22-8180 ☎22-8165 ☎22-8166 ☎22-1638
2階	建設課 ☎22-8169 ☎22-8179
1階	福祉保健部 福祉課 家庭児童相談 長寿社会課 長室 ☎22-8118 談室 ☎22-7851 ☎22-8172 ☎22-7020 ☎22-8120



南 庁 舎

建設部長室 下水道課 管理課 建築課 ☎22-8116 ☎22-8176 ☎22-8131 ☎22-8175 ☎22-8140



関 金 庁 舎

支所管理課 交流推進課 農村整備課 ☎45-2111 ☎45-2112 ☎45-2115
地域整備課 簡易水道課 代表FAX ☎45-2113 ☎45-2114 ☎45-3964



倉吉人権局

人権政策課 ☎22-4891/☎22-4901
人権文化センター ☎22-4768/☎22-2942



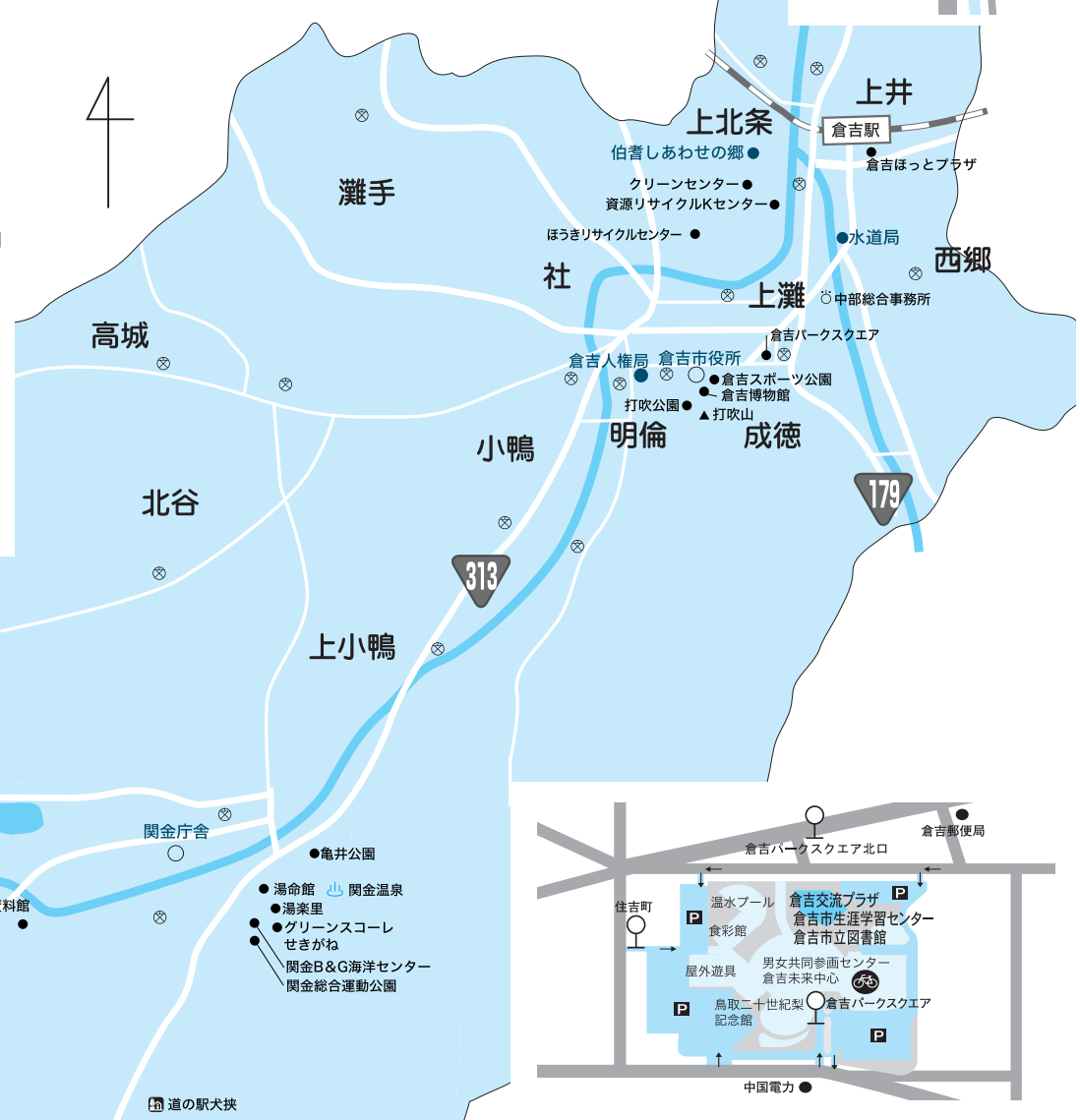
倉吉人権局

伯耆しあわせの郷 保健センター
健康支援課 ☎26-5670/☎26-5660
事業団 ☎26-5581/☎26-5633

これまで長寿社会課で取り扱っていた保健師業務は、新たに伯耆しあわせの郷に設置した健康支援課で取り扱うことになりました。ご不便をお掛けしないよう本庁(福祉事務所)にも健康相談コーナーを設置しています。



伯耆しあわせの郷保健センター



水 道 局

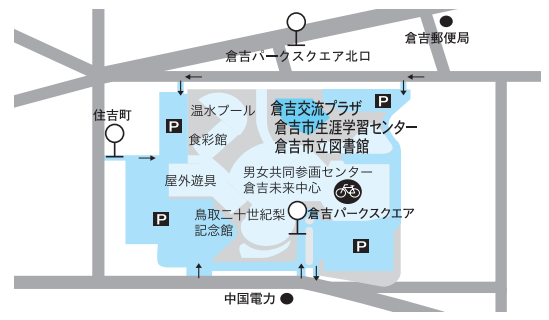
水道局長	☎26-1695
業務課	☎26-1675 (管理係直通) ☎26-1031 (営業係直通)
工務課	☎26-1659 (計画係直通) ☎26-1649 (送水係直通) ☎26-1032 (配水係直通) ☎26-1033 (給水係直通) ☎26-3242



水道局

倉吉交流プラザ

生涯学習課	☎47-1181 (社会教育係直通) ☎47-1182 (学習推進係直通) ☎47-1180
倉吉図書館	☎47-1183
温水プール	☎47-1186/☎47-1187



博 物 館

☎22-4409/☎22-4415

文化財課

☎22-4419/☎22-2303



倉吉博物館

市民スポーツ課

☎22-8167/☎22-5684



倉吉スポーツセンター



倉吉交流プラザ